

廿
夕
日 刊

宮下、福羽の兩在職

四倉保長(四二) 西澤由衛(四一) 諸橋繁(二二) 熱海慎、三四倉町角網は岩手縣宮古町坂本

は過般群馬、栃木、埼玉の三縣に於ける特別大演習御警衛に出張した功に依り群馬縣警察署特

高課長北村隆氏より金一封と感謝状を贈られた。

四倉町原田山崎彌平氏長女ヨシ子(四二)は十九日午前十時頃附近で油繩に火をつけて遊んでゐるうち衣類に火が移り大火傷を負つたが生命には別状がないと

四倉町内大浦村全村の自轉車々体検査は二十一日執行したが成績良好であった。

四倉署管内大浦村全村の自轉車々体検査は二十一日執行したが成績良好であった。

皇后陛下の御下賜品に十五名の患者感泣

さのふ回春園で傳達式

佐藤巡查に感謝狀

二十二日の日曜休まず

老婦

衣類が燃る

幼兒火傷

不思議の話(1)

石城郡豊間村縣立回春園收容の恩賜財團濟生會施療十五名に對する皇后陛下御下賜品傳達式は二十日午前十時五十分から同回春園で縣知事代理濟警察部長からそれぞれ患者へ傳達され冬期の寒さに入つた際反物二反同裏地裁縫料の御下賜を受けた十五名その有難さに感激し一日も早く全快してお國のために報恩する感泣した。御下賜品傳達の重任を果した渡警察部長は謹んで語る。

正月に間もなく寒さが酷しくなつたので一日も早く御下賜相澤保長(四二)西澤由衛(四一)諸橋繁(二二)熱海慎、三四倉町角網は岩手縣宮古町坂本

六) 武石要藏(二十五)秋本季雄(二六)箱崎きね(二〇)田邊谷(二五)秋(一四)加藤丹治(一五)柏木(一四)小松光子(一三)佐藤清雄(三〇)木村善吉(一八)大見博男(一九)小菅歌子(二五)

ふじ子(一四)小菅歌子(一三)佐藤清雄(三〇)木村善吉(一八)大見博男(一九)小菅歌子(二五)

東北凶作地の少國民救資金の旅費に充て、殘る卅圓を凶作地募集中奔走中の石城郡内郷村清光院住職福羽賢三師、同瑞芳寺住職宮下秀賀師は協力して村内を托鉢し各戸に事情を訴へて廻つた結果村民は兩師の熱心に動かされて淨財を喜捨するものが多額十九日に零細な淨財が積り三、山下房松、鈴木春松、外山幸一の四名に對し勵章並に賜金積つて三十二圓になつたので、うち二圓は凶作地兒童引取りの傳達式を舉行する。

救濟資金を寄附

内郷全村を托鉢

理髮組合役員

原釜に角網

湯本町の一女給から教師に浮び上る女性

母親からの涙の手紙で悟りを開いて轉向

汽 車 を 停 め る

老 婆

四倉町角網は岩手縣宮古町坂本合に漁業權の質借方を交渉中であつたが組合では一ヶ月年五百圓で承諾したので愈々明年から原釜で經營する事になつた。

四倉町角網は岩手縣宮古町坂本嘉兵衛氏が經營し相當の成績を挙げてゐたが今回相馬郡原釜に本據を移す事となり原釜漁業組合で來春卒業する兒童のうち希望者は二十五日から六日間平町各商店で商業見習ひの實習を行つてゐる。午後四時まで窓口現金取扱ひをする。

四倉町角網は岩手縣宮古町坂本嘉兵衛氏が經營し相當の成績を挙げてゐたが今回相馬郡原釜に本據を移す事となり原釜漁業組合で來春卒業する兒童のうち希望者は二十五日から六日間平町各商店で商業見習ひの實習を行つてゐる。午後四時まで窓口現金取扱ひをする。

四倉町角網は岩手縣宮古町坂本嘉兵衛氏が經營し相當の成績を挙げてゐたが今回相馬郡原釜に本據を移す事となり原釜漁業組合で來春卒業する兒童のうち希望者は二十五日から六日間平町各商店で商業見習ひの實習を行つてゐる。午後四時まで窓口現金取扱ひをする。

四倉町角網は岩手縣宮古町坂本嘉兵衛氏が經營し相當の成績を挙げてゐたが今回相馬郡原釜に本據を移す事となり原釜漁業組合で來春卒業する兒童のうち希望者は二十五日から六日間平町各商店で商業見習ひの實習を行つてゐる。午後四時まで窓口現金取扱ひをする。

四倉町角網は岩手縣宮古町坂本嘉兵衛氏が經營し相當の成績を挙げてゐたが今回相馬郡原釜に本據を移す事となり原釜漁業組合で來春卒業する兒童のうち希望者は二十五日から六日間平町各商店で商業見習ひの實習を行つてゐる。午後四時まで窓口現金取扱ひをする。

四倉町角網は岩手縣宮古町坂本嘉兵衛氏が經營し相當の成績を挙げてゐたが今回相馬郡原釜に本據を移す事となり原釜漁業組合で來春卒業する兒童のうち希望者は二十五日から六日間平町各商店で商業見習ひの實習を行つてゐる。午後四時まで窓口現金取扱ひをする。

廿
夕
日 刊

宮下、福羽の兩在職

十五名の患者感泣

佐藤巡查に感謝狀

二十二日の日曜休まず

老 婆

衣類が燃る

幼兒火傷

不思議の話(1)

精算して立派に轉向してゐるの

に同情しかつてその才能を惜し

んで某市

の教員に推薦したので

この女は二・三日中にカフエ梅

左のやうな二首の感想を示した

櫻を去つて平町の知己の下に客

室で貰ひまつたがる中に保つ

さげすみのむらがる中に保つ

るもの、保ち来りてホット息ぬ

く。

さげすみのむらがる中に保つ

もの、黙してひたにたえんと思

ふ。

花の四月晴れの教壇に立つ日を

樂しみに待つてゐる。

同女は語る

妾はかうしてゐても決して恥

しいことはしてゐません、だ

からまた自信を持つて教壇に

立てます。そして兒童達を凝

視することが出来るこ信じて

なすと。

委員會は二十一日午後一時から

て忘年會を催します

する。

▲平町會 平町會は

二十六日午後一時から開き終つ

て忘年會を催します

水戸篠路組合村では十八日役場

で上海事變出征軍人武勳者左記

の者に賞賜傳達式を舉行した

瑞八十五五圓砲一吉田賢四郎

瑞八五十五圓輪特吉田朝四郎

松崎末男

の者に賞賜傳達式を舉行した

花の四月晴れの教壇に立つ日を

樂しみに待つてゐる。

若き日のくるしみなれや何事

も、黙してひたにたえんと思

ふ。

さげすみのむらがる中に保つ

く。

さげすみのむらがる中に保つ

る。

さげすみのむらがる中に保つ

く。

さげすみのむらがる中に保つ

く。

さげすみのむらがる中に保つ

る。

